

今回はSL(short lecture)通算第41回目。7章の仮想変位、仮想速度と変分の内容を十回にわたって講義している。今回はその六回目として「相対姿勢の変分と相対角速度」について学ぶ。 2023.09.28 清水

7.3 相対姿勢の変分と相対角速度

6.3.1項で相対姿勢とその座標変換を扱った。図6.1(下図)において基準枠として全体枠 O 、基準枠 i 、基準枠 j の3つの枠を扱った。

基準枠 j から基準枠 i へ変換する相対座標変換マトリックス \mathbf{A}^{ij} は式(6.29)により

$$\mathbf{A}^{ij} = (\mathbf{A}^{Oi})^T \mathbf{A}^{Oj} \quad (7.31)$$

と表わされた。ここで \mathbf{A}^{Oi} 、 \mathbf{A}^{Oj} はそれぞれ枠 i から枠 O へ、枠 j から枠 O への座標変換マトリックスである。式(7.31)より

$$\mathbf{A}^{Oj} = \mathbf{A}^{Oi} \mathbf{A}^{ij} \quad (7.32)$$

である。この式の変分をとると

$$\delta \mathbf{A}^{Oj} = \delta \mathbf{A}^{Oi} \mathbf{A}^{ij} + \mathbf{A}^{Oi} \delta \mathbf{A}^{ij} \quad (7.33)$$

となる。式(7.33)の両辺に左から $(\mathbf{A}^{Oj})^T$ をかけると

$$\begin{aligned} (\mathbf{A}^{Oj})^T \delta \mathbf{A}^{Oj} &= (\mathbf{A}^{Oj})^T \delta \mathbf{A}^{Oi} \mathbf{A}^{ij} + (\mathbf{A}^{Oj})^T \mathbf{A}^{Oi} \delta \mathbf{A}^{ij} \\ &\stackrel{(7.32), (7.31)}{=} (\mathbf{A}^{ij})^T (\mathbf{A}^{Oi})^T \delta \mathbf{A}^{Oi} \mathbf{A}^{ij} + (\mathbf{A}^{ij})^T \delta \mathbf{A}^{ij} \end{aligned}$$

これより式(7.17)を用いて

$$\delta\tilde{\theta}^{'Oj} = (\mathbf{A}^{ij})^T \delta\tilde{\theta}^{'Oi} \mathbf{A}^{ij} + \delta\tilde{\theta}^{'ij} \quad (7.34)$$

を得る。両辺からチルダオペレーションをはずすとベクトルの関係式

$$\delta\theta^{'Oj} = (\mathbf{A}^{ij})^T \delta\theta^{'Oi} + \delta\theta^{'ij} \quad (7.35a)$$

を得る。ここで $\delta\theta^{'Oj}$ 、 $\delta\theta^{'Oi}$ 、 $\delta\theta^{'ij}$ はそれぞれ枠 O に対する枠 j の、枠 O に対する枠 i の、枠 i に対する枠 j の仮想回転である。これらはそれぞれ枠 j 、枠 i 、枠 j における成分で表わしている。同様の手順で角速度に対する式を求めることができ式(7.35a)と対比して

$$\omega^{'Oj} = (\mathbf{A}^{ij})^T \omega^{'Oi} + \omega^{'ij} \quad (7.36a)$$

となる。

一方、式(7.35a)を式(7.15)の関係を用いて変形すると

$$\delta\theta^{Oj} = \delta\theta^{Oi} + \mathbf{A}^{Oi} \delta\theta^{ij} \quad (7.35b)$$

を得る。式(7.35b)を参考に角速度に対する式は

$$\omega^{Oj} = \omega^{Oi} + \mathbf{A}^{Oi} \omega^{ij} \quad (7.36b)$$

となる。

[補足説明1] 文字の説明

$\omega^{'Oj}$ 、 $\omega^{'Oi}$ 、 $\omega^{'ij}$ はそれぞれ枠 O に対する枠 j の、枠 O に対する枠 i の、枠 i に対する枠 j の回転角速度である。これらはそれぞれ枠 j 、枠 i 、枠 j における成分で表わしている。

[補足説明2] 式(7.34)の導出

式(7.17)より $\delta\tilde{\theta}^{'Oj} = (\mathbf{A}^{Oj})^T \delta\mathbf{A}^{Oj}$ と書けるから

$$\begin{aligned} \delta\tilde{\theta}^{'Oj} &= (\mathbf{A}^{Oj})^T \delta\mathbf{A}^{Oj} \\ &= (\mathbf{A}^{Oi} \mathbf{A}^{ij})^T (\delta\mathbf{A}^{Oi} \mathbf{A}^{ij} + \mathbf{A}^{Oi} \delta\mathbf{A}^{ij}) \\ &= (\mathbf{A}^{ij})^T \underbrace{(\mathbf{A}^{Oi})^T \delta\mathbf{A}^{Oi}}_{=\delta\tilde{\theta}^{'Oi}} \mathbf{A}^{ij} + \underbrace{(\mathbf{A}^{ij})^T \delta\mathbf{A}^{ij}}_{=\delta\tilde{\theta}^{'ij}} \\ &= (\mathbf{A}^{ij})^T \delta\tilde{\theta}^{'Oi} \mathbf{A}^{ij} + \delta\tilde{\theta}^{'ij} \end{aligned}$$

を得る。

[付] 他の章、節の図および式

$$\mathbf{A}^{ij} \equiv (\mathbf{A}^{Oi})^T \mathbf{A}^{Oj} \quad (6.29)$$

$$\delta\tilde{\theta}^{OB} = \mathbf{A}^{OB} \delta\tilde{\theta}^{'OB} \quad (7.15)$$

$$\delta\tilde{\theta}^{'OB} = (\mathbf{A}^{OB})^T \delta\mathbf{A}^{OB} \quad (7.17)$$

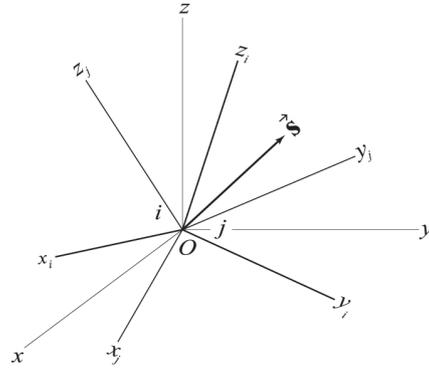


図6.1 三つの基準枠によるベクトル \vec{s} の表現